



神奈川県イグレンの活動状況を伝える機関紙

神奈川県イグレンニュース

<第198号>

発行：神奈川県異業種連携協議会（議長 金究武正）

発行責任者：専務理事 芝 忠 編集担当：愛賢司

〒231-0015 横浜市中区尾上町 5-80 神奈川県中小企業センタービル7F

Tel./FAX 045-228-7331 <http://www.kanagawa-iguren.com>

2019年5月号

イベントのお知らせ

→ 第81回 西湘サロン

日時	7月8日（月）午後6時30分～8時30分（開場6時）
場所	おだわら市民交流センターUMECO（JR小田原駅東口より徒歩約2分）
内容	<p>話題：『外国人共生における日本語対応の現状と課題』 小田原市文化政策課 副課長 竹井尚久氏</p> <p>オリンピック・パラリンピックに向けて、インバウンド対応が急がれる中、一方で出入国管理法が改正され、今年4月から特定技能制度が新たに創設されました。今後5年間で介護や建設、農業など14分野で約35万人の外国人を受け入れる予定とのことですが、これほど多くの外国人をきちんと受け入れる受け皿対応はどうでしょうか？例えば、これまでの留学生対応の日本語学校ではなく、労働者本人やそのご家族に対応する日本語教室や日本語クラス。その現状と課題は。</p>
参加費	1,500円（当日）

※ イベントの詳細は最終ページをご覧ください。

皆さんの参加をお待ちしています。

今月のコンテンツ

1. 第63回 「新事業・新技術支援フォーラム」 報告..... 2ページ
 2. 閑中閑話..... 4ページ
- 巻末 第81回 西湘サロンのご案内

→ 第63回 「新事業・新技術支援フォーラム」報告

(4月24日開催 於中小企業センター)

初めに、芝さんより、「今年の7月4日開催以来、久方ぶりに再開することになりました。今日は特にテーマは用意していませんので、皆さんに近況を報告してもらいたいと思います」と挨拶。

本題に入る前に、サクラテックス(株)の岡田さんから、「中央大学理工学部経営システム工学科の中條武志教授と共同研究している『中小企業における生産性の現状と課題』に関する調査のアンケートを実施することになったのでご協力をお願いしたい。この調査は、収益の改善、今後の展望、継承などに当たって中小企業が抱えている問題を、生産性に着目して解き明かし、今後どのような課題の克服が必要になるかを導くためのものです。ご協力いただけるならば6月30日までをお願いしたい」との説明と要請がありました。

(株) ユニメーションシステムの伊藤さんから次のような近況報告がありました。

「当社は、災害関連の自社製品を自治体相手に営業しているが、予算との関係でこちらの都合で進まない。世の中に無い製品を提供して売上と利益上げるようにしている。最近、新しい設備を入れていこうという機運が出てきているが、納めた装置のメンテナンスの要素が増えてきたので業績が安定してきた。装置を納めてから10年経ったものが150セット程あるが、それらは切り替えの時期に来ている。役所には、使えなくなるまでメンテナンスをしないでこのまま使い続けて行こうという考えもあるが、通信が3Gから5Gへと2、3年のうちに変わるためそのままでは、使えなくなるのでメンテナンスが必要となる。相手が役所のため、すぐやるかどうか分からないので、時間要素を考えながら進めていく。従来はテレメータを使っていたが、今は計測してその場で警報を出すようになり、費用は1000万円から300万円に下がった。現在は水害多発のこともあり、全国的には4、5百件ほどの見積もりがある。利益が上がったら、知財戦略やソフトウェア開発に回すようにしたい。光、音、文字によって警報を出しているが、どのようなデータを使ったソフト開発を行うかが今後の課題である。」更に、「海

外の事業はどのようになったか」との質問に対しては、「海外事業には行政機関をはじめ他機関との調整等が複雑で、現在の自社の力量では困難が多い」とのことでした。

次に、**(株)シーエー**の松井さんから次のような近況報告がありました。

「当社の蓄光商材は、高価格だと言われていますが、性能では他社よりずっと優れていると自負していますので、積極的な営業活動しております。JIS規格適合品であり、NETIS登録商品として認定されています。(注：NETIS登録商品とは、耐衝撃試験、耐アルカリ性試験、耐摩耗試験等の16項目の試験を受けているJISz9096商材で、そのJIS規格を取得していることを認めて国土交通省が認定したモノを言います。) NETIS登録商品と認めてもらうために、様々な試験を行うための費用等が商品の原価に響き高価格になっています。当社の製品は、長寿命でメンテナンスも必要ないため他社商品に比べて歴然の差があります。もう一つの当社商品に、『防滑タイル』があります。今年のラグビーWカップ大会で使用する味の素スタジアムや、最寄りの京王線飛田給駅の階段に『防滑タイル』を設置しました。『防滑タイル』については、新幹線の東京から新大阪までの各ホームに設置して17年間の実績があることを京王電鉄が認めてくれて、3月までに貼り替えを完了しました。

更に、第3の商品として、『磨き石汚垂れ石』があります。文京区や世田谷区などのトイレでは既に『汚垂れ石』が使用されています。今後は、皇居外苑や神宮外苑のトイレにも使用する予定です。現在は、『蓄光』『防滑タイル』『磨き石汚垂れ石』の3部門で営業活動しています。

富士工業(株)の荷宮さんからは、「レンジフードを作っている会社ですが、今度、セブンイレブンでフライを揚げるところのレンジフードを設置しました」と報告がありました。

(松井利夫)

→ 閑中閑話

5月とは思えない真夏日の来襲。皆様体調管理にご苦労のことと存じます。実は筆者は5月16日から20日にベトナムのハノイに行っておりました。あちらの気温は、毎日36度以上の亜熱帯性真夏日。とにかく暑かったです。そして、ベトナムに行かれた方はご存じのように、暑さを一段と助長するようなバイクの氾濫と意味不明な喧騒と熱気。なかなか刺激的な3日間でしたので、ハノイで垣間観た興味深かった幾つかを紹介します。

まず、バイクは圧倒的にホンダ。フェイク・バイクが多いかもしれませんが「僕のホンダはヤマハ」というぐらいバイク＝ホンダ。市内を走っている乗用車で多く見かけたのはトヨタ次にホンダ。たまにスズキと韓国車。どういうわけか、3日間で日産車は一度も見ませんでした。ただし、ワゴン車やバスなどの大型車は圧倒的に韓国ヒュンダイのマークが目立ちました。

2018年のGDPが7%を超えここ10年間のGDPが平均6%を超える勢いのベトナムの急成長ぶりも目にしました。ハノイから世界遺産のハロン湾に向かう途中に広大な緑地帯にいくつもの巨大な工業団地が存在し、また造成中の「INDUSTRY PARK」と近隣に建設中のマンションらしき建築群（建設会社は韓国資本が目立ちました）を車窓から眺めていると、工業化まっしぐらに進んだ高度成長期の日本もこうだったのかと想像し、緑地を無計画につぶして良いのか、環境問題への配慮はどうなっていくのかなど、余計な心配が頭をよぎりました。

筆者は、25年くらい前にハノイに行ったことがあります。当時はチップを要求されたことはありませんでした。今回、ハロン湾で竹船に乗ってハロン湾の奇岩群や波が作り上げた洞窟を楽しんでいた時に、櫓をこいで案内してくれていたおじさんが、「カメラ」と言って写真を撮ってくれましたが、「マネー・チップ」と言って手を出された時は正直興ざめました。市場経済の負の側面が人の行為にちょっと顔を出したかなという印象でした。

ともあれ、ベトナムはエネルギー溢れた国で、人々は勤勉(特に女性)です。3日という短い滞在でしたが、旧市街から出ないで市内を歩き回り、昔ながらの金物街や衣類店が立ち並ぶ街並みをバイクに神経を使いながら散策し、金物街で買った精巧な引出しの把手を土産に帰ってきました。

結構エネルギーをもらった3日間でした。

(愛賢司)

神奈川県異業種連携協議会

交流アドバイザーが詰めております、気軽にご連絡ご相談ください（無料）

【月】	①②③宮川 豊 ④⑤荒 直孝
【火】	①②④⑤児玉 英二 ③愛賢司
【水】	①菊地 ②指方 ③加藤 ④愛⑤芝
【木】	①②③④⑤松井 利夫
【金】	①愛賢司 ②指方 順一郎 ③④⑤織方
【土、日、祭日】	休業

→ 神奈川県イグレン事務局

〒231-0015 横浜市中区尾上町 5-80

神奈川中小企業センタービル7階インキュベートルーム 703号

T/F 045-228-7331 URL : <http://www.kanagawa-iguren.com>

Mail : iguren@kanagawa-iguren.com



地域の幅広い人材交流を目指した「神奈川新産学公交流サロン」
第81回西湘サロン開催のお知らせ

神奈川県異業種連携協議会（イグレン）事務局

〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル7階

【日時】：令和1年7月8日（月）午後6時30分～8時30分（開場6時）

【場所】：おだわら市民交流センター**UMECO** (TEL :0465-24-6611)

【会費】：参加費1,500円（当日）

*次回 82回予定：令和1年9月9日（月）（開催時間、場所は今回と同じ予定です）



1. 話題：『外国人共生における日本語対応の現状と課題』

小田原市文化政策課 副課長 竹井尚久氏

オリンピック・パラリンピックに向けて、インバウンド対応が急がれる中、一方で出入国管理法が改正され、今年4月から特定技能制度が新たに創設されました。今後5年間で介護や建設、農業など14分野で約35万人の外国人を受け入れる予定とのことですが、これほど多くの外国人をきちんと受け入れる受け皿対応はどうでしょうか？例えば、これまでの留学生対応の日本語学校ではなく、労働者本人やそのご家族に対応する日本語教室や日本語クラス。 その現状と課題は。

2. テーブルディスカッション（ビール、つまみを用意します）テーブルを囲み、自由に討論・交流を行います。

3. 場所



JR 小田原駅東口より
徒歩約2分です。

住所：小田原市栄町一丁目1番27号（駅東口駐車場1階）（TEL :0465-24-6611）

個人で参加される方は、申し込みの必要がありません。多人数で参加される方は会場の準備の都合もありますので下記参加申込書で参加人数を教えてください。

参加申込 E-mail yoshiike@maple.ocn.ne.jp

Tel & Fax 0467-32-5154（吉池）

氏名	(参加人数： 名)	所属・役職	
住所		電話番号	()
		FAX番号	()